

ご存知ですか？

日本映画発祥の地は京都でした。



平成24年10月26日改訂
発行・京都府立図書館

日本で映画の試写が最初におこなわれ、日本で初の劇映画が制作されたのは、京都でした。

パリで発明されたばかりのシネマトグラフを日本へ持ち帰り、新京極東向座で試写をおこなったのは、京都在住の稲畑勝太郎です。明治30年のことでした。それから11年後、明治41年に京都「千本座」の座主、マキノ省三が、日本初の劇映画を制作します。

当館では、日本映画の黄金期といわれた昭和30年代のシナリオをはじめ、映画に関する図書資料、ビデオ・DVDなどの視聴覚資料を所蔵しています。

京都と映画の関係や日本映画について、理解を深めてみませんか？



京都と映画

請求記号（資料コード）

『日活の社史と現勢』(加茂令堂／著 日活の社史と現勢刊行会 1930)	778/Ka(1101741310)
『欧米及日本の映画史』(石巻良夫／著 プラトン社 1925)	E/776/109(1103177638)
『稲畑勝太郎君伝』(高梨光司／編著 稲畑勝太郎翁喜寿記念伝記編集会 1938)	E/943/955(1103374722)
『京都の映画80年の歩み』(京都新聞社／編著 京都新聞社 1980)	K/778.21/Ky6(1100392230)
『京都映画図絵』(鴫 明浩／編 フィルムアート社 1994)	K/778.21/To31(1100392263)
『シネマの京都をたどる』(蔵田 敏明／著 淡交社 2007)	K/778.21/Ku56(1108409937)
『京都絵になる風景』(吉田 馨／著 ダイヤモンド・ビッグ社 2007)	K/778.21/Y86(1108406024)
『京都映画産業論』(庄林 二三雄／著 啓文社 1994)	K/778.09/Sh95(1100392248)
『映画空間・右京区のフィールドワーク』(大矢 敦子／編集 立命館大学文学部人文総合科学インスティテュート富田美香ゼミ 2002)	K/778.21/O94(1106927971)
『INTERVIEW映画の青春』(京都府京都文化博物館 1998)	778.21/KY6(1106078866)
『時代劇映画とはなにか』(京都映画祭実行委員会／編 人文書院 1997)	K/778.21/Ky6(1107981092)

マキノ映画の歩み

『日本映画の父(マキノ省三伝)』(桑野桃華／編 マキノ省三伝発行事務所 1949)	778.21/MA35-K(1104392525)
『回想・マキノ映画』(御園京平／編集 マキノ省三先生顕彰会 1971)	778/KA(1100839487)
『マキノプロダクション・事始』(瀬川与志／〔著〕 白川書院 1977)	778.21/MA35-S(1104392533)
『映画渡世』 天の巻 地の巻(マキノ雅弘／著 平凡社 1977)	778/MA(1100849080 ほか)
『カヅウ屋一代』(マキノ雅弘／著 栄光出版社 1968)	77/M(1107593004)
『オイッチニーのサン』(高野 澄／著 PHP 研究所 2008)	913.6/Ta47(1108489426)



時代劇映画こぼれ話

『丹下左膳の映画史』(田中照禾／著 川喜多コーポレーション 2004)	778.21/Ta84(1107138107)
『鞍馬天狗とは何者か』(小川和也／著 藤原書店 2006)	910.268/O74(1108366483)
『鞍馬天狗のゆくえ』(相川美恵子／著 未知谷 2008)	910.268/O74(1108553205)
『聞書アラカン一代』(竹中労／著 徳間書店 1985)	778.21/A65(1107000190)





日本映画の歩み

『日本映画史』増補版 1～4(佐藤 忠男／著 岩波書店 2006～2007)	778.21 /Sa85(1108394360 ほか)
『年表・映画100年史』(谷川義雄／編 風涛社 1993)	778.2/Ta88(1105326159)
『映画生誕100年博覧会』(キネマ旬報社／編 川崎市市民ミュージアム 1995)	778.21/Ka97(1105326209)
『キネマの世紀 映画の百年、松竹の百年』(松竹映像本部映像渉外室 1995)	778.21/Sh95(1105326449)
『日本映画ポスター集』26冊(ワイズ出版 2000～2003)	778.21/N71(1106230251 ほか)
『日本の映画人』(佐藤 忠男／編 日外アソシエーツ 2007)	778.21 /Sa85(1108524263)
『時代劇伝説 チャンバラ映画の輝き』(岩本 憲児／編 森話社 2005)	778.21/I94(1108302488)

事典等

『日本映画作品辞典』 日本映画史研究会／編 科学書院(1996～1998)	778.03 /N7
『日本映画人名辞典』 日本映画史研究会／編 科学書院(2005)	778.03 /N71
『日本映画人名事典』 キネマ旬報社(1995～1997))	778.21 /KI43
『日本劇映画総目録 明治32年から昭和20年まで』 日外アソシエーツ 2008	778.21 /Sh99
『日本映画原作事典』 日外アソシエーツ 2007	778.21 /Su83
『世界映画大事典』 日本図書センター 2008	778.03 /Se22



雑誌・年鑑(バックナンバーの閲覧は地下カウンターへお申し込みください)

『キネマ旬報』(キネマ旬報社)	雑誌架
『シナリオ』(シナリオ作家協会)	雑誌架
『映画年鑑』(時事映画通信社)	778.05 /E37
『年鑑代表シナリオ集』(シナリオ作家協会)	912.78 /N64

視聴覚資料(ビデオ・DVD等)

「日本映画傑作全集」479巻
「日本無声映画名作館」24巻
スタジオジブリシリーズほか
2階AVコーナーで
ご覧いただけます。



地下1階 フロア図



日本映画の分類番号は「778.21」です。
本の背表紙にあるラベルの番号です。
地下1階、棚番号が63、64のところ
にあります。
(別置記号Kのある京都関係は1階です)



映画に携った人々について書かれた図書もあります。監督名や俳優名等をキーワードに当館の館内端末で検索してみてください。また違う角度から日本映画を楽しめるかもしれません。